

情報提供日: 令和8年3月13日

地域の声から企画！障がい者支援施設を会場につながり構築 地域住民×施設職員×防災士が初コラボ！防災クッキング教室を開催(3/21)

龍ヶ崎市防災士連絡会(会長:深澤幸子、事務局:龍ヶ崎市防災安全課)は、「災害時に障がいのある方をどう支援すべきか」という地域の声から企画された「防災クッキング[※]教室」を令和8年3月21日(土)に障がい者支援施設かんばんにい(龍ヶ崎市若柴町)で開催します。

本教室の講師は同連絡会に所属する3人の防災士が務めます。これまでも防災クッキング教室を開催してきましたが、今回初めて「障がい者支援施設の職員」と「施設近隣の地域住民」を対象に開催。災害時の備えは、普段からつながりを持つことが大切であると考え、教室を通じて地域住民と施設職員が「顔をわかる関係」を築くことを目的として実施されます。



▲耐熱性ポリ袋を使った調理(リハーサル時撮影)

当日は、災害時に衛生的で洗い物を出さずにできる耐熱性のポリ袋を利用した、食材を入れて湯煎するだけの蒸しパン作りなどを行います。

さらに、湯煎などの待ち時間を活用し、防災士が家庭でできる災害への備えなど説明し、参加者の家庭での防災意識向上も図ります。

報道機関の皆さまにおかれましては、当日の取材を賜りますようお願いいたします。

※ 防災クッキングとは…

パッククッキングともいわれ、耐熱性ポリ袋に食材や調味料を入れて湯煎したり、混ぜたりするだけでできる調理方法です。鍋を汚さず洗い物が出ないため、水が貴重な災害時に有用で衛生的な調理方法でもあります。

龍ヶ崎市防災士連絡会では、これまでも主に市内施設で親子を対象とした防災クッキング教室を開催しています。

■日 時	令和8年3月21日(土) 午前11時から正午まで
■場 所	障がい者支援施設かんばんにい(所在地:茨城県龍ヶ崎市若柴町2240-1008)
■参加者	施設職員及び長山地区住民 計10人程度
■詳 細	①はじめに ②防災クッキングの実践 ※湯煎の待ち時間に防災士による講話 ・野菜蒸しパンの調理・焼きそばの調理・バナナジュースの調理 ③試食・交流 ④振り返り・おわりに
担当課	龍ヶ崎市 総務部 防災安全課 防災対策グループ 担当者:田中(たなか)連絡先:0297-60-1514(直通)